

パブリックコメント実施結果報告書

平成26年4月9日

| | |
|-----|--------------|
| 担当課 | 原子力安全対策課 |
| 担当者 | 内田 |
| 連絡先 | 0857-26-7974 |

意見公募のテーマ：鳥取県広域住民避難計画（島根原子力発電所事故対応）の平成25年度修正案

①手段別意見応募件数（意見件数を記入してください。応募者数は（ ）書きしてください。）

（記入例：1人が提出したものに3つの意見が記載されていた場合には、3（1）と記載してください。）

| 郵便 | ファックス | 電子メール | 県民課・総合事務所等へ | その他の方法 | 計 |
|----|-------|-------|-------------|--------|-------|
| | 2（1） | 10（6） | 1（1） | | 13（8） |

※「その他の方法」の例：意見交換会、電話、イベントなど

②応募意見の政策案等への反映状況

| 対応状況 | 件数 | 主な意見 |
|-------------------------|----|---|
| 反映した （一部のみ反映したものを含む） | | |
| 既に盛り込み済み | 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・事故が発生した時点で避難を開始すべきである。特に子どもや妊産婦さんは、先行避難できるようにしてほしい。 ・島根半島からの避難者への対応が欠落しているのではないかと懸念される。 ・避難指示後20時間で避難を完了となっているが、渋滞で不可能と考える。訓練で検証し、渋滞対策も含めてシナリオを作るべき。 ・安定ヨウ素剤の備蓄について、避難経路の沿線に分散して保管していただきたい。 |
| 今後の検討課題 | 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・災害の種類や状況、規模及び風向きや避難方法のモニタリング結果等の応じて避難先を柔軟に選択できるようにしてほしい。 ・要援護者が避難するための緊急輸送車両の確保ができていないことが懸念される。 ・スクリーニングの実施により発生する汚染水の処理について検討いただきたい。 |
| 対応困難 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・避難期間が複数年に及び場合も想定して対応策を具体化すべきである。 |
| その他 （例：施策の体系外の意見等） | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・避難計画について、県東部を含む県内の各地で説明会及び意見交換会を開催してほしい。 ・計画の概要及び内容について、詳しく教えていただきたい。 ・大きな自然災害が発生した時には、原子力防災が不可能であることを国に対して示すべきである。 |
| 計 | 13 | |

※上記による分類が困難な場合は、担当課の整理に基づく分類で差し支えありません。

③意見募集結果概要書を、1部添付してください。

他の公表方法として該当するものに○を付してください。

| とりネット （実施担当課） | 報道機関への 資料提供 | 県議会への報告 | 県民課等での 縦覧等 | 広報誌等への 掲載 | その他 |
|------------------|----------------|---------|---------------|--------------|-----|
| ○ | | ○ | ○ | | |

※「その他」の例：審議会報告など